

国立大学法人島根大学役員会（第428回）〈議事要録〉

日時 令和7年11月18日（火） 14:00 ～ 15:00
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）
出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、宮脇理事
オブザーバー 吉田監事、栗原監事
欠席者 上野理事
〔陪席：企画部長、研究・地方創生部長、教育・学生支援部長、総務部長、
財務部長、松江地区学部等事務部長、医学部事務部長、監査室長事務取扱〕

議決事項1 大学発ベンチャーの認定に関する規程の一部改正について

- 学長から資料に基づき、大学発ベンチャーの認定に関する規程の一部改正について説明があった。
- 栗原監事から、支援期間を限定していた理由について質問があり、学長から、現行規程も他大学の状況を参考に支援期間を定めていたと考えるが、今回の改正も、認定大学発ベンチャーからの要望に加え他大学の状況も踏まえて、支援期間の上限を撤廃するものであるとの回答があった。
- 宮脇理事から、事業の成功には計画よりも実行力が求められることから、民間企業との連携を図りながらマーケティング力や現場での実行力を高める枠組みを整えることが重要であるとの意見があった。
- 栗原監事から、大学発ベンチャーの認定及び解除について役員会へ報告する仕組みがあるのかとの質問があり、関連して、吉田監事から、近年は大学に対してベンチャー支援の役割が期待されていることから、本学でも認定ベンチャー企業の状況を役員会へ報告し、大学として支援意識を高めることが重要であるとの意見があった。学長から、現状では役員会へ報告する仕組みは無いが、今後は定期的に報告し、ご意見を頂く機会を設けたいとの発言があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（医療情報の管理体制）

- 椎名理事から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（医療情報の管理体制）説明があった。
- 吉田監事から、医療情報システム停止時の訓練について、患者対応を最優先にシステムが利用できない状況でも診療を途切れさせないことが重要であり、変化する環境に応じて改善を重ねながら継続的に訓練を実施する必要があるとの意見があった。

報告事項1 令和8年度医学部入学定員増員計画について

- 増永理事から資料に基づき、令和8年度医学部入学定員増員計画について報告があった。

報告事項2 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。

報告事項3 令和7年度会計検査院会計実地検査の結果について

- 大川理事から資料に基づき、令和7年度会計検査院会計実地検査の結果について報告があった。

報告事項4 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。